

年金からの特別徴収における  
情報交換媒体作成仕様書

(国保連合会－市町村間)

平成19年5月

# 目 次

	頁
第1 基本的事項	
1. 1 目的	1
1. 2 規定にあたっての基本的な考え方	1
1. 3 用語の定義	1
第2 具体的事項	
2. 1 磁気媒体・伝送関係	2
2. 1. 1 磁気媒体別ファイルの種類	2
2. 1. 2 規定事項	3
(1) ハード仕様	3
(2) ソフト仕様	4
2. 2 コード関係	20
2. 2. 1 コードの種類	20
2. 2. 2 コード仕様	21
第3 個別事項	
3. 1 通知毎の設定項目	26
3. 1. 1 市町村回付情報の設定項目(年次)	26
3. 1. 2 市町村回付情報の設定項目(月次)	27
3. 2 通知毎の仕様(介護/国保/後期)	28
3. 2. 1 特別徴収対象者情報ファイル仕様	28
3. 2. 2 特別徴収依頼情報ファイル仕様	34
3. 2. 3 特別徴収依頼処理結果情報ファイル仕様	40
3. 2. 4 特別徴収結果情報ファイル仕様	46
3. 2. 5 特別徴収各種異動情報ファイル仕様	73
第4 留意事項	
4. 1 項目設定共通事項	92
4. 1. 1 「住所」欄	92
4. 1. 2 「氏名」欄	98
4. 1. 3 「年月日」欄	100
4. 1. 4 「金額」欄	100
4. 2 エラーの取り扱いについて	101
4. 3 エラーチェック内容	103
4. 4 データ交換の流れ	108
4. 5 媒体作成・伝送使用上の留意事項	110
第5 文字コード規定	
5. 1 文字コードについて	111

# 第 1 基本的事項

## 1. 1 目的

この仕様書は、年金からの特別徴収にかかる、国保連合会と市町村間で行う情報交換に使用する磁気媒体・伝送の作成仕様を規定するものです。

## 1. 2 規定にあたっての基本的な考え方

規定については、日本工業規格（JIS）に基づいて作成しました。  
具体的には、JIS X 0601（情報交換用磁気テープのラベルとファイル構成）に準じた仕様としています。  
また、使用する文字コードにおいても、JISコードとしました。

## 1. 3 用語の定義

- (1) 市町村回付情報 : 年金からの特別徴収において、市町村と社会保険庁及び地方公務員共済組合連合会との間で情報交換を行うファイルの総称（本仕様書においては国保連合会－市町村間の回付情報）
- (2) 集信 : 市町村から社会保険庁及び地方公務員共済組合連合会へ情報を回付すること（本仕様書においては市町村から国保連合会への情報回付）
- (3) 配信 : 社会保険庁及び地方公務員共済組合連合会から市町村へ情報を回付すること（本仕様書においては国保連合会から市町村への情報回付）
- (4) 介護 : 介護保険料/介護特別徴収/介護特別徴収制度の略称
- (5) 国保 : 国保保険料/国保特別徴収/国保特別徴収制度の略称
- (6) 後期 : 後期高齢者保険料/後期高齢者特別徴収/後期高齢者特別徴収制度の略称

## 第2 具体的事項

### 2. 1 磁気媒体・伝送関係

#### 2. 1. 1 磁気媒体別ファイルの種類

本仕様書で規定する磁気媒体別ファイルの種類は、表2. 1. 1-1の通りです。

表2. 1. 1-1 磁気媒体別ファイルの種類

項番	媒体	ファイル	作成元	収録概要(※)
1	特別徴収対象者情報 媒体(年次)	・介護特別徴収対象者情報 ファイル ・国保特別徴収対象者情報 ファイル ・後期特別徴収対象者情報 ファイル	社会保険庁 地方公務員 共済組合連 合会	・特別徴収対象者情報
2	特別徴収依頼処理結 果情報媒体(年次)	・介護特別徴収依頼処理結 果情報ファイル ・国保特別徴収依頼処理結 果情報ファイル ・後期特別徴収依頼処理結 果情報ファイル	社会保険庁 地方公務員 共済組合連 合会	・特別徴収依頼処理結果
3	特別徴収結果情報 媒体(月次)	・介護特別徴収結果情報 ファイル ・国保特別徴収結果情報 ファイル ・後期特別徴収結果情報 ファイル	社会保険庁 地方公務員 共済組合連 合会	・特別徴収結果通知 ・特別徴収追加候補者情報 ・特別徴収追加依頼処理結果通知 ・資格喪失等処理結果通知 ・仮徴収額変更処理結果通知 (6月、7月、8月) ・住所地特例該当者処理結果通知
4	特別徴収依頼情報 媒体(年次)	・介護特別徴収依頼情報 ファイル ・国保特別徴収依頼情報 ファイル ・後期特別徴収依頼情報 ファイル	市町村	・特別徴収依頼通知
5	特別徴収各種異動情 報媒体(月次)	・介護特別徴収各種異動 情報ファイル ・国保特別徴収各種異動 情報ファイル ・後期特別徴収各種異動 情報ファイル	市町村	・特別徴収追加依頼通知 ・資格喪失等の通知 ・仮徴収額変更通知 (4月、5月、6月) ・住所地特例該当者通知

※：各収録概要は特別徴収の制度毎に作成され、それぞれのファイルに格納される。

## 2. 1. 2 規定事項

### (1) ハード仕様

交換情報を収載するハード仕様の項目とその内容は、表2. 1. 2-1～5の通りです。

表2. 1. 2-1 FDのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	3. 5インチ	
2	フォーマット形式	1. 44メガバイトのMS-DOSフォーマット	

表2. 1. 2-2 MOのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	230M、640M	
2	フォーマット形式	MS-DOSフォーマット	SuperFloppy形式

表2. 1. 2-3 CDのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	CD-R (ディスクアットワンス)	
2	フォーマット形式	CDFS	

表2. 1. 2-4 DVDのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	DVD-R (ディスクアットワンス)	
2	フォーマット形式	DVD-R・・・UDF1.02	

表2. 1. 2-5 伝送仕様

項番	項目	内容	備考
1	使用回線サービス	ISDN (デジタル回線)	
2	通信プロトコル	TCP/IP	

(2) ソフト仕様

ア) 交換情報のソフト仕様

ソフト仕様の項目とその内容は、表2. 1. 2-6の通りです。

表2. 1. 2-6 交換情報のソフト仕様

項番	項目	内容	備考
1	データ属性	1バイト文字又は2バイト文字	
2	内部コード	1バイト文字 (JIS8単位コード) 2バイト文字(全角文字) (JIS83年度版による第一水準、第二水準。 JIS規定外文字は、1全角の「?」に変換。) 制御キャラクタコード (漢字シフトコードは16進「1B2442」を使用し、 カナシフトコードは16進「1B284A」を使用。)	JISX0201-1976  JISX0208-1983  JISX0202-1991
3	ファイル形式	シングルファイル/シングルボリューム マルチファイル/シングルボリューム マルチファイル/マルチボリューム ※ シングルファイル/マルチボリューム(1ファイルを複数媒体に分割して収録)は不可とする。	システムファイルを収録しないこと
4	ファイル名	英字で始まる半角英数字8桁に拡張子“.DTA”を付加したもの。	表2. 1. 2-7参照
5	データ形式	ヘッダレコード データレコード トレイラレコード より構成する。	

表2. 1. 2-7 ファイル名

項番	名称	ファイル名
1	介護特別徴収対象者情報	Z11xxxxx. DTA
2	介護特別徴収依頼情報	Z12xxxxx. DTA
3	介護特別徴収依頼処理結果情報	Z13xxxxx. DTA
4	介護特別徴収結果情報	Z14xxxxx. DTA
5	介護特別徴収各種異動情報	Z1Axxxxx. DTA
6	国保特別徴収対象者情報	Z21xxxxx. DTA
7	国保特別徴収依頼情報	Z22xxxxx. DTA
8	国保特別徴収依頼処理結果情報	Z23xxxxx. DTA
9	国保特別徴収結果情報	Z24xxxxx. DTA
10	国保特別徴収各種異動情報	Z2Axxxxx. DTA
11	後期高齢特別徴収対象者情報	Z31xxxxx. DTA
12	後期高齢特別徴収依頼情報	Z32xxxxx. DTA
13	後期高齢特別徴収依頼処理結果情報	Z33xxxxx. DTA
14	後期高齢特別徴収結果情報	Z34xxxxx. DTA
15	後期高齢特別徴収各種異動情報	Z3Axxxxx. DTA

※ 「xxxxx」について

1. 次の場合、「xxxxx」は“00000”から始まる数字5桁の通番が自動的に採番される。
  - ・国保連合会から市町村へ受渡す交換情報の場合（磁気媒体・伝送）
  - ・市町村から国保連合会へ受渡す交換情報の場合（伝送）
2. 次の場合は、「xxxxx」は任意で付与する。
  - ・市町村から国保連合会へ受渡す交換情報の場合（磁気媒体）

## イ) ソフト仕様の補足説明

交換情報のソフト仕様に関する補足説明は、以下の通りです。

### ① データ属性（1バイト文字又は2バイト文字）

データの各1文字を1バイト(8ビット)で表す形式の文字を1バイト文字、データの各1文字を2バイト(16ビット)で表す形式の文字を2バイト文字と  
いいます。

### ② 内部コード（JIS 8 単位コード及びJIS 第1水準・第2水準）

電子計算組織内の処理において、文字等を表わすために用いる符号です。  
(第5文字コード規定参照)



③ ファイル形式

磁気媒体のファイル形式は、表2. 1. 2-8の通りです。

表2. 1. 2-8 ファイル形式

項番	ファイル形式	データの収録形態	磁気媒体の形態		
1	シングルファイル・ シングルボリューム	1媒体1通知収録	介護 情報 ファイル  A 通知	国保 情報 ファイル  A 通知	後期 情報 ファイル  A 通知
2	マルチファイル・ シングルボリューム	1媒体1通知収録	介護 情報 ファイル  A 通知	国保 情報 ファイル  A 通知	後期 情報 ファイル  A 通知
		1媒体複数通知収録	介護 情報 ファイル  A B 通通知	国保 情報 ファイル  A B 通通知	後期 情報 ファイル  A B 通通知
3	マルチファイル・ マルチボリューム	複数媒体1通知収録	介護 情報 ファイル  A 通知	国保 情報 ファイル  A 通知	後期 情報 ファイル  A 通知
		複数媒体複数通知収録	介護 情報 ファイル  A B C 通通知	国保 情報 ファイル  A B C 通通知	後期 情報 ファイル  A B C 通通知

- ・ 1情報（制度）＝1ファイルとして下さい。
- ・ ファイルは分割せず、1媒体に格納して下さい。
- ・ 介護情報、国保情報、後期情報の順に格納して下さい。
- ・ レコードが0件の場合でも、管理レコード・ファイル管理レコードを付与したファイルを格納して下さい。

磁気媒体内のファイルフォーマットは、図2. 1. 2-1～2の通りです。

図2. 1. 2-1 ファイルフォーマット (シングルボリューム)

介護	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部									
			ヘッダレコード	データレコード		データレコード	トレイラレコード	ヘッダレコード	データレコード			データレコード
国保	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部									
			ヘッダレコード	データレコード		データレコード	トレイラレコード	ヘッダレコード	データレコード			データレコード
後期高齢	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部									
			ヘッダレコード	データレコード		データレコード	トレイラレコード	ヘッダレコード	データレコード			データレコード

図2. 1. 2-2 ファイルフォーマット (マルチボリューム)

1/n枚目			実データ部										
介護	管理レコード	ファイル管理レコード	ヘッダレコード	データレコード									トレイラレコード
			実データ部										
国保	管理レコード	ファイル管理レコード	ヘッダレコード	データレコード									トレイラレコード
			実データ部										
n/n枚目			実データ部										
後期高齢	管理レコード	ファイル管理レコード	ヘッダレコード	データレコード									トレイラレコード
			実データ部										

④-a データ形式（磁気媒体）

(i) 管理レコード

ファイルの先頭に位置し、媒体を一意に識別するための情報が記録されるレコードです。

詳細は、表2. 1. 2-9及び図2. 1. 2-3を参照。

(ii) ファイル管理レコード

ファイルのレコード数が記録されるレコードです。

詳細は、表2. 1. 2-10及び図2. 1. 2-4を参照。

(iii) 実データ部

ヘッダレコード、データレコード、トレイラレコードより構成します。

ヘッダレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの先頭を意味し、媒体コード等を収録します。

データレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録する被保険者別の情報であり、個人特定用の情報、各種区分・各種年月日・各種金額等を収録します。

トレイラレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの最終を意味し、合計件数・合計金額等を収録します。

詳細は3. 2. 1～5を参照。

表2. 1. 2-9 : 管理レコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される (を設定する)。	括弧内の記述は市町村にて設定する内容 (以降、同様)
	市町村コード	3	数字	C		
	スペース	1	-	C	スペースが設定される (を設定する)。	
2	媒体通番	3	数字	C	媒体・伝送の提出単位で通番を“001”からの3桁の通番で払い出し、設定される (設定する)。 (ゼロサプレス不可) 年次分、月次分の媒体を合わせた通し番号の管理は各市町村にて行うこと。 同一通番が異なる媒体に続けて付与された場合は受付できない。	
3	作成年月日	8	数字	C	国保連合会から市町村へ回付する情報においては、国保中央会にて市町村別情報を作成した年月日が設定される。 市町村から国保連合会へ回付する情報においては、市町村にて情報を作成した年月日を設定すること。 形式 : yyyymmdd (西暦年月日) (ゼロサプレス不可)	
4	予備	31	英数字	C	スペースが設定される (を設定する)。	

図2. 1. 2-3

ファイル名	市町村回付情報	ファイル編成	順編成	ブロック長	—	記録媒体	FD/MO/CD/DVD
		ラベル形式	—	レコード長	48バイト		
ファイルID		レコード形式	固定長非ブロック化	データ長	48バイト	シングル/マルチ ファイル・ボリュームの別	シングルファイル/シングルボリューム マルチファイル/シングルボリューム マルチファイル/マルチボリューム

管理レコード1

項目名	府県コード	市町村コード	スペース	媒体通番	作成年月日	予備
文字種別	数字	数字		数字	数字	英数字
桁数	2	3	1	3	8	31
属性	C	C		C	C	C
バイト数	2	3	1	3	8	8

項目名	文字種別	桁数	属性	バイト数

項目名	文字種別	桁数	属性	バイト数

表2. 1. 2-10 : ファイル管理レコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	ファイル格納件数	6	数字	C	当該ファイルへの収録レコード数が設定される (を設定すること)。	
2	予備	42	—	C	スペースが設定される (を設定すること)。	

図2. 1. 2-4

ファイル名	市町村回付情報	ファイル編成	順編成	ブロック長	—	記録媒体	FD/MO/CD/DVD
		ラベル形式	—	レコード長	48バイト		
ファイルID		レコード形式	固定長非ブロック化	データ長	48バイト	シングル/マルチ ファイル・ボリュームの 別	シングルファイル/シングルボリューム マルチファイル/シングルボリューム マルチファイル/マルチボリューム

ファイル管理レコード1

項目名	ファイル格納件数	予備
文字種別	数字	
桁数	6	42
属性	C	C
バイト数	6	42

項目名	
文字種別	
桁数	
属性	
バイト数	

項目名	
文字種別	
桁数	
属性	
バイト数	

④－b データ形式（伝送）

各レコードはCSV形式で作成されます。  
 コントロールレコード、データレコードのデータ部以外及びエンドレコードは、  
 国保連合会より配布される伝送ソフトにて自動で付与されます。

(i) コントロールレコード

ファイルの先頭に設定し、伝送での市町村回付情報の識別、レコード件数、送付  
 元等の制御情報を収録します。

詳細は、表2. 1. 2-11～13を参照。

(ii) データレコード

ファイルの第二レコード以降に設定し、伝送での市町村回付情報のデータ部である  
 ことを表します。磁気媒体仕様の管理レコード・ファイル管理レコード・実データ部  
 (ヘッダ・データ・トレイラレコード)で構成されます。

詳細は、表2. 1. 2-14を参照。

(iii) エンドレコード

ファイルの最終レコードとして設定し、伝送での市町村回付情報の終端を表します。  
 詳細は、表2. 1. 2-15を参照。

(データ設定例)

シングルファイルボリュームで、データレコード件数=123、  
 データ種別=999、保険者番号=111111、  
 処理対象年月(注1)=2008年4月、ファイル管理番号=1の場合の  
 データ設定例を示す。

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
設定値	1	,	1	,	0	,	1	2	3	,	9	9	9	,	0	,	1	1	1	1	1	1	,	0	,	0	,	1	,	2	0	0	8	0	4	,	1	改行	コード

・データレコード設定例(注2)

位置	1	2	3	4	.....																							...	...
設定値	2	,	2	,	... データを設定 ...																							改行	コード

・エンドレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7
設定値	3	,	1	2	5	改行	コード



注1：処理対象年月について

以下にコントロールレコードの処理対象年月の設定内容について記載する。

① 市町村から国保連合会へ受け渡す市町村回付情報の場合

国保連合会で電算処理を実行する年月を設定する。

例： ・ 2008年4月10日～2008年6月12日対象者判定分について6月に国保連合会で電算処理を実行するための情報を国保連合会に提出する場合は、“200806”を設定する。

② 国保連合会から市町村へ受け渡す交換情報の場合

国保連合会で市町村への送信処理を実行した年月が設定される。

例： ・ 2008年2月1日～2008年3月31日対象者抽出分について4月に市町村への送信処理が実行される場合は、“200804”が設定される。

注2：データレコードについて

データレコードには、当該情報交換媒体作成仕様の規定に従い、管理レコード・ファイル管理レコード・実データ部の内容を設定する。

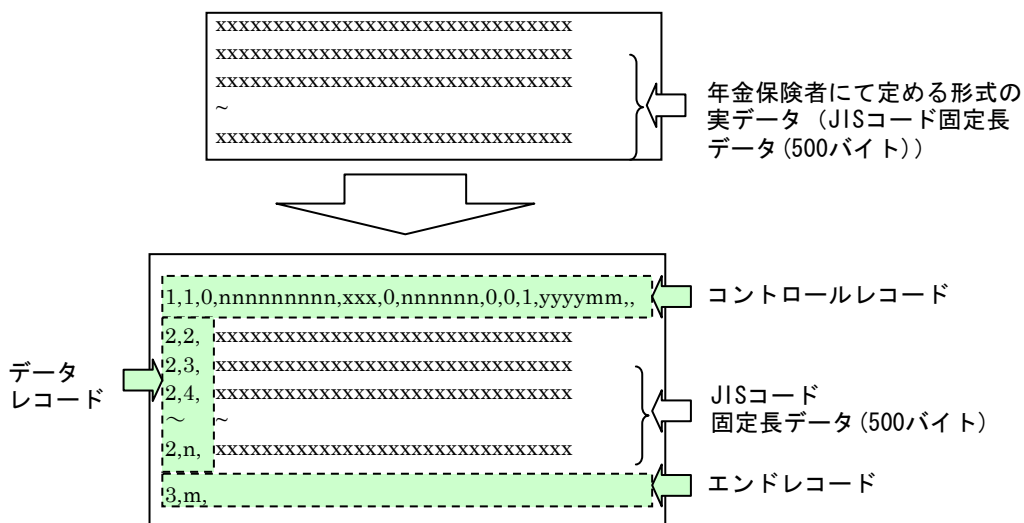


表2. 1. 2-11: コントロールレコード (伝送)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード種別	1	数字	C	コントロールレコードを示す“1”を設定	
2	レコード番号 (連番)	9	数字	C	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定	
3	ボリューム通番	3	数字	C	“0”を設定	
4	レコード件数	9	数字	C	データレコードの件数を設定 (コントロールレコード及びエンドレコードの件数は加算しない)	
5	データ種別	3	英数字	C	表2.1.2-13「データ種別一覧」参照	
6	福祉事務所特定番号	2	数字	C	“0”を設定	
7	保険者番号	6	英数字	C	伝送を行う市町村の保険者番号を設定する	表2.1.2-12参照
8	事業所番号	10	数字	C	“0”を設定	
9	都道府県番号	2	数字	C	“0”を設定	
10	媒体区分	1	英数字	C	“1”(伝送)を設定	表2.1.2-12参照
11	処理対象年月	6	数字	C	データの処理対象年月を設定する	④-b 注1参照
12	ファイル管理番号	6	数字	C	“0”を設定	
13	ブランク	2	英数字	C	改行(16進コード…0x0D0A)を設定	

表2. 1. 2-12: コード一覧 (伝送)

項番	名称	属性	桁数	内容
1	媒体区分コード	数字	1	1:伝送
2	保険者番号	数字	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村介護担当部署が伝送を行う場合 被保険者証記載の保険者番号</li> <li>・市町村国保担当部署が伝送を行う場合 被保険者証記載の保険者番号</li> <li>・市町村後期担当部署が伝送を行う場合 被保険者証記載の法別番号を除く6桁の保険者番号</li> </ul>

表 2. 1. 2 - 1 3 データ種別一覧 (伝送)

項番	名称	データ種別	内容
1	介護特別徴収対象者情報	Z11	特別徴収対象者情報 (年次)
2	介護特別徴収依頼情報	Z12	特別徴収依頼通知 (年次)
3	介護特別徴収依頼処理結果情報	Z13	特別徴収依頼処理結果通知 (年次)
4	介護特別徴収結果情報	Z14	特別徴収結果通知 (定期) 特別徴収追加候補者情報 (月次) 特別徴収追加依頼処理結果通知 (月次) 資格喪失等処理結果通知 (月次) 仮徴収額変更処理結果通知 (月次) 住所地特例該当者処理結果通知 (月次)
5	介護特別徴収各種異動情報	Z1A	特別徴収追加依頼通知 (月次) 資格喪失等の通知 (月次) 仮徴収額変更通知 (月次) 住所地特例該当者通知 (月次)
6	国保特別徴収対象者情報	Z21	特別徴収対象者情報 (年次)
7	国保特別徴収依頼情報	Z22	特別徴収依頼通知 (年次)
8	国保特別徴収依頼処理結果情報	Z23	特別徴収依頼処理結果通知 (年次)
9	国保特別徴収結果情報	Z24	特別徴収結果通知 (定期) 特別徴収追加候補者情報 (月次) 特別徴収追加依頼処理結果通知 (月次) 資格喪失等処理結果通知 (月次) 仮徴収額変更処理結果通知 (月次) 住所地特例該当者処理結果通知 (月次)
10	国保特別徴収各種異動情報	Z2A	特別徴収追加依頼通知 (月次) 資格喪失等の通知 (月次) 仮徴収額変更通知 (月次) 住所地特例該当者通知 (月次)
11	後期高齢特別徴収対象者情報	Z31	特別徴収対象者情報 (年次)
12	後期高齢特別徴収依頼情報	Z32	特別徴収依頼通知 (年次)
13	後期高齢特別徴収依頼処理結果情報	Z33	特別徴収依頼処理結果通知 (年次)
14	後期高齢特別徴収結果情報	Z34	特別徴収結果通知 (定期) 特別徴収追加候補者情報 (月次) 特別徴収追加依頼処理結果通知 (月次) 資格喪失等処理結果通知 (月次) 仮徴収額変更処理結果通知 (月次) 住所地特例該当者処理結果通知 (月次)
15	後期高齢特別徴収各種異動情報	Z3A	特別徴収追加依頼通知 (月次) 資格喪失等の通知 (月次) 仮徴収額変更通知 (月次) 住所地特例該当者通知 (月次)

表 2. 1. 2-14 : データレコード (伝送)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード種別	1	数字	C	データレコードを示す“2”を設定	
2	レコード番号 (連番)	9	数字	C	ファイル内の先頭レコードからの 連番(1から始まる通番)を設定	
3	データ				市町村回付情報ごとにデータを設定	④-b 注2 参照
4	ブランク	2	英数字	C	改行(16進コード…0x0D0A)を設定	

表 2. 1. 2-15 : エンドレコード (伝送)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード種別	1	数字	C	エンドレコードを示す“3”を設定	
2	レコード番号 (連番)	9	数字	C	ファイル内の先頭レコードからの 連番 (1 から始まる通番) を設定	
3	ブランク	2	英数字	C	改行 (16進コード…0x0D0A) を設定	

## 2. 2 コード関係

### 2. 2. 1 コードの種類

項番	コード名称	内 容
1	レコード区分	ヘッダ・データ・トレイラを区別するもの
2	市町村コード	市町村名をコード化したもの
3	特別徴収義務者コード	特別徴収義務者をコード化したもの
4	通知内容コード	回付情報の通知内容を区分するもの
5	媒体コード	回付する情報の媒体をコード化したもの
6	年金コード	年金種別をコード化したもの
7	性別コード	性別をコード化したもの
8	各種区分	各通知内容毎の事由又は、処理結果等を区分するもの
9	処理結果	各通知内容の処理結果をコード化したもの
10	特別徴収制度コード	特別徴収制度をコード化したもの
11	後期移管コード	後期高齢者医療の被保険者として扱う対象者をコード化したもの

## 2. 2. 2 コード仕様

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度		
				介護	国保	後期
1	レコード区分	1	ヘッダレコード	○	○	○
		2	データレコード	○	○	○
		3	トレイラレコード	○	○	○
2	市町村コード	総務省で定められた地方公共団体コード参照		○	○	○
3	特別徴収義務者コード	501	国家公務員共済組合連合会	○	○	○
		594	地方職員共済組合	○	○	○
		595	地方職員共済組合団体共済部	○	○	○
		596	東京都職員共済組合	○	○	○
		597	札幌市職員共済組合	○	○	○
		598	川崎市職員共済組合	○	○	○
		599	横浜市職員共済組合	○	○	○
		600	名古屋市職員共済組合	○	○	○
		601	京都市職員共済組合	○	○	○
		602	大阪市職員共済組合	○	○	○
		603	神戸市職員共済組合	○	○	○
		604	広島市職員共済組合	○	○	○
		605	北九州市職員共済組合	○	○	○
		606	福岡市職員共済組合	○	○	○
		700	全国市町村職員共済組合連合会	○	○	○
		686	日本私立学校振興・共済事業団	○	○	○
		687	農林漁業団体職員共済組合	○	○	○
999	社会保険庁	○	○	○		
4	通知内容コード	00	特別徴収対象者情報	○	○	○
		01	特別徴収依頼通知	○	○	○
		02	特別徴収依頼処理結果通知	○	○	○
		22	特別徴収結果通知	○	○	○
		30	特別徴収追加候補者情報	○	○	○
		31	特別徴収追加依頼通知	○	○	○
		32	特別徴収追加依頼処理結果通知	○	○	○
		41	資格喪失等の通知	○	○	○
		42	資格喪失等処理結果通知	○	○	○
		61	仮徴収額変更通知	○	○	○
		62	仮徴収額変更処理結果通知	○	○	○
		81	住所地特例該当者通知	○	○	○
		82	住所地特例該当者処理結果通知	○	○	○
		5	媒体コード	2	フロッピーディスク（FD）	○
5	光磁気ディスク（MO）			○	○	○
6	回線			○	○	○
7	コンパクトディスク（CD-R）			○	○	○
8	光ディスク（DVD-R）			○	○	○

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度		
				介護	国保	後期
6	年金コード(特別徴収にかか る情報交換における年金コードである)	0120～29	国民年金老齢年金	○	○	○
		0220～29		○	○	○
		0320～29		○	○	○
		0420～29		○	○	○
		0520～29	国民年金通算老齢年金	○	○	○
		0130～39	厚生年金保険老齢年金	○	○	○
		0230～39	厚生年金保険通算老齢年金	○	○	○
		0830～39	厚生年金保険特例老齢年金	○	○	○
		0140～49	船員保険老齢年金	○	○	○
		0240～49	船員保険通算老齢年金	○	○	○
		0640～49	船員保険養老年金	○	○	○
		0840～49	船員保険特例老齢年金	○	○	○
		1150～59	老齢基礎年金	○	○	○
		0100, 0160～69	退職年金(共済)	○	○	○
		0200, 0260～69	通算退職年金(共済)	○	○	○
		0300, 0360～69	減額退職年金(共済)	○	○	○
		1350～59	障害基礎年金	○	○	○
		2650～59	障害基礎年金(障害福祉年金裁定替え分)	○	○	○
		5350～59	障害基礎年金(短期)	○	○	○
		6350～59	障害基礎年金(20歳前)	○	○	○
		2350～59	障害厚生年金	○	○	○
		3350～59	職務上障害年金	○	○	○
		0620～29	国民年金障害年金	○	○	○
		0330～39	厚生年金保険障害年金	○	○	○
		0340～49	船員保険障害年金	○	○	○
		1300, 1370～79	障害共済年金	○	○	○
		0500, 0560～69	障害年金(共済)	○	○	○
		1450～59	遺族基礎年金	○	○	○
		6450～59	遺族基礎年金(短期)	○	○	○
		2450～59	遺族厚生年金	○	○	○
		3450～59	職務上遺族年金	○	○	○
		0430～39	厚生年金保険遺族年金	○	○	○
		0530～39	厚生年金保険寡婦年金	○	○	○
0930～39	厚生年金保険通算遺族年金	○	○	○		
0440～49	船員保険遺族年金	○	○	○		
1400, 1470～79	遺族共済年金	○	○	○		
0400, 0460～69	遺族年金(共済)	○	○	○		
0900, 0960～69	通算遺族年金(共済)	○	○	○		
7	性別コード	1	男子	○	○	○
		2	女子	○	○	○



項番	コード名称	コード	内 容	対象制度		
				介護	国保	後期
8	各種区分	通知内容コード＝「00」：特別徴収対象者情報				
		01	新規者	○	○	○
		02	前年度継続者	○	○	○
		70	ダミーレコード	○	－	－
		通知内容コード＝「01」：特別徴収依頼通知				
		01	特別徴収対象者	○	○	○
		02	特別徴収対象者（住所地特例該当）	○	○	○
		03	特別徴収非対象者	○	○	○
		通知内容コード＝「22」：特別徴収結果通知				
		00	正常	○	○	○
		01	失権	○	○	○
		02	差止	○	○	○
		03	支払年金額不足	○	○	○
		05	特別徴収非該当（他制度による中止）	－	○	－
		10	正常（75歳以上で国保特別徴収中）	－	○	－
		通知内容コード＝「30」：特別徴収追加候補者情報				
		01	新規者	○	○	○
		02	住所変更者	○	○	○
		通知内容コード＝「31」：特別徴収追加依頼通知				
		01	特別徴収対象者	○	○	○
		02	特別徴収対象者（住所地特例該当）	○	○	○
		03	特別徴収非対象者	○	○	○
		通知内容コード＝「41」：資格喪失等の通知				
		01	死亡	○	○	○
		02	転出	○	○	○
		03	特別事情	○	○	○
		04	適用除外	○	○	○
		通知内容コード＝「61」：仮徴収額変更通知				
		00	初期値	○	○	○
		通知内容コード＝「81」：住所地特例該当者通知				
		01	住所地特例該当	○	○	○
		02	住所地特例該当解除	○	○	○
		9	処理結果	00	正常	○
01	失権			○	○	○
02	差止			○	○	○
03	支払年金額不足			○	○	○
50	1レコード内単項目エラー			○	○	○
51	相関エラー			○	○	○
52	原簿突合エラー			○	○	○
10	特別徴収制度コード	0	介護	○	－	－
		1	国保	－	○	－
		2	後期	－	－	○
11	後期移管コード	0	初期値	－	－	○
		1	65歳以上75歳未満の政令で定める程度の障害の状態にある旨の認定を受けたことにより後期として扱う後期移管対象者	－	－	○

※各種区分と処理結果区分との組合せ設定については、別紙「各種区分、処理結果区分コード対応表」参照。

※00-70（ダミーレコード）は、国保／後期のH19/10捕捉時のみ使用する。

別紙 各種区分、処理結果区分コード対応表

通知内容 コード	各種区分		処理結果	
	コード	内 容	コード	内 容
00	01	新規者	00	初期値
	02	前年度継続者		
	70	ダミーレコード		
01	01	特別徴収対象者		
	02	特別徴収対象者（住所地特例該当）		
	03	特別徴収非対象者		
02	通知内容コード「01」の内容を収録する		通知内容コード「01」の各種区分が「01」「02」の場合	
			00	正常
			01	失権
			02	差止
			03	支払年金額不足
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
			通知内容コード「01」の各種区分が上記以外の場合	
			00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
22	00	正常	00	初期値
	01	失権		
	02	差止		
	03	支払年金額不足		
	05	特別徴収非該当（他制度による中止）		
	10	正常（75歳以上で国保特別徴収中）		
30	01	新規者	00	初期値
	02	住所変更者		
31	01	特別徴収対象者		
	02	特別徴収対象者（住所地特例該当）		
	03	特別徴収非対象者		

通知内容 コード	各種区分		処理結果	
	コード	内 容	コード	内 容
32	通知内容コード「31」の内容を収録する		通知内容コード「31」の各種区分が「01」「02」の場合	
			00	正常
			01	失権
			02	差止
			03	支払年金額不足
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
			通知内容コード「31」の各種区分が上記以外の場合	
			00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
52	原簿突合エラー			
41	01	死亡	00	初期値
	02	転出		
	03	特別事情		
	04	適用除外		
42	通知内容コード「41」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
61	00	初期値	00	初期値
62	通知内容コード「61」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
81	01	住所地特例該当	00	初期値
	02	住所地特例該当解除		
82	通知内容コード「81」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー

※00-70（ダミーレコード）は、国保／後期のH19／10捕捉時のみ使用する。



3. 1. 2 市町村回付情報の設定項目（月次）

表 3. 1. 2-1 市町村回付情報の設定項目（月次・介護/国保/後期）

項番	設定項目 通知内容	ヘッダ										データレコード															トレイラ																		
		レコード区分	市町村コード	特別徴収義務者コード	通知内容コード	媒体コード	特別徴収制度コード	作成年月日	レコード区分	市町村コード	特別徴収義務者コード	通知内容コード	特別徴収制度コード	作成年月日	基礎年金番号	年金コード		性別	氏名			住所			各種区分	処理結果	後期移管コード(注4)	各種年月日	各種金額欄			共済年金証書記号番号(注5)	レコード区分	市町村コード	特別徴収義務者コード	通知内容コード	特別徴収制度コード	作成年月日	レコード件数	合計金額					
																種別	区分		カナ	シフトコード	漢字(注3)	シフトコード	郵便番号	カナ					シフトコード	漢字(注3)	シフトコード									金額1(注6)	金額2(注6)	金額3(注6)	金額1	金額2	金額3
1	「22」：特別徴収結果通知	○	○	▲	○	—	○	○	○	○	▲	○	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	—	—	○	○	—	—	▲	○	○	▲	○	○	○	○	—	—	—					
2	「30」：特別徴収追加候補者情報	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—				
3	「31」：特別徴収追加依頼通知	○	○	◆	○	◆	○	○	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	—	○	○	—	◆	◆	○	○	◆	○	◆	○	○	○	—	—	—					
4	「32」：特別徴収追加依頼処理結果通知	◎	◎	◆	○	—	◆	○	◎	◎	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◎	○	◎	◎	—	◆	◆	◎	◎	◆	○	◆	○	○	○	—	—	—					
5	「41」：資格喪失等の通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	▲	▲	○	○	○	△	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—						
6	「42」：資格喪失等処理結果通知	◎	◎	◎	○	—	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	◎	—	—	—	▲	◎	◎	◎	○	◎	○	○	—	—	—					
7	「61」：仮徴収額変更通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	▲	▲	○	○	○	△	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—						
8	「62」：仮徴収額変更処理結果通知	◎	◎	◎	○	—	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	◎	◎	—	—	▲	◎	◎	◎	○	◎	○	○	—	—	—					
9	「81」：住所地特例該当者通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	▲	▲	○	○	○	△	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—						
10	「82」：住所地特例該当者処理結果通知	◎	◎	◎	○	—	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	◎	—	—	—	▲	◎	◎	◎	○	◎	○	○	—	—	—					

(注1)  
 ○…年金保険者 → 市町村への回付情報  
 ◎…市町村 → 年金保険者への回付情報

(注2)  
 ○…必須設定項目 △…任意設定項目 —…初期値（項目属性に合わせた初期値を設定する）  
 ◆…「(30)：特別徴収追加候補者情報」の項目内容を消去・変更することなく作成する。  
 ▲…「(00)：特別徴収対象者情報」または、「(30)：特別徴収追加候補者情報」の項目内容を消去・変更せずに作成する。  
 ◎…市町村回付レコードの項目内容をそのまま設定する。

- (対応レコード)
- ① 「(31)：特別徴収追加依頼通知」 — 「(32)：特別徴収追加依頼処理結果通知」
  - ② 「(41)：資格喪失等の通知」 — 「(42)：資格喪失等処理結果通知」
  - ③ 「(61)：仮徴収額変更通知」 — 「(62)：仮徴収額変更処理結果通知」
  - ④ 「(81)：住所地特例該当者通知」 — 「(82)：住所地特例該当者処理結果通知」

(注3) 「(30)：特別徴収追加候補者情報」では、年金保険者において漢字項目を収録済の者はその内容を設定し、未収録者はスペースを設定する。

(注4) 介護及び国保は後期移管コードを使用しないため、スペースを設定する。

(注5) 社会保険庁分：スペースを設定する。共済組合分：共済の年金証書記号番号を設定する。

### 3. 2 通知毎の仕様（介護/国保/後期）

#### 3. 2. 1 特別徴収対象者情報ファイル仕様

##### （1）レコードの種類

特別徴収対象者情報ファイルに収録するレコードの種類は、表 3. 2. 1-1 の通りです。

表 3. 2. 1-1 レコードの種類

項番	項目 (通知内容コード)	内容
1	特別徴収対象者情報 (00)	毎年4/1を基準日とし、社会保険庁及び、各共済組合にて政令で定められた特別徴収対象条件を満たした年金受給者の情報を収録するレコードである。

##### ※国保/後期のH19/10捕捉に係る留意事項

国保/後期について、年齢要件はH20/4/1、年金要件はH19/10/1が基準日となります。

介護について、介護ダミーレコードが発出されます。その際、各種金額欄に下記が設定されます。

金額1：端数調整後の支払回数割保険料『10月定期支払』

金額2：定額の支払回数割保険料『10月定期支払』以外

金額3：仮徴収額

(2) レコードの収録項目

特別徴収対象者情報レコードの収録項目は表3. 2. 1-2、3. 2. 1-3、3. 2. 1-4の通りです。

表3. 2. 1-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	“1” が設定される。		
2	市町村コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。		
	市町村コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照	
4	通知内容コード	2	数字	C	“00” が設定される。		
5	媒体コード	1	数字	C	全桁“0” が設定される。		
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備	479	英数字	C	スペースが設定される。		

表3. 2. 1-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	基礎年金番号が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	社会保険庁使用の年金コードが設定される。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードが設定される。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.2 「氏名」 欄参照
シフトコード		3	記号	X			
漢字		25	漢字	X			
シフトコード		3	記号	X			
17	住所	郵便番号	7	数字	C	郵便番号が設定される。	
18		カナ	80	カナ	C	住所(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.1 「住所」 欄参照
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		



項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”が設定される。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードが設定される。 介護：スペースが設定される。 国保：スペースが設定される。 後期：後期として扱う対象者を示すコードが設定される。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象年金の年金額が設定される。	
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	社会保険庁分：スペースが設定される。 共済組合分：共済の年金証書記号番号が設定される。		

表3. 2. 1-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0” が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

(3) レコード収録条件

年金保険者では特別徴収対象者情報を以下に示す収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 特別徴収義務者コードで昇順にソート

特別徴収対象者情報の収録例を図3. 2. 1-1に示します。

図3. 2. 1-1 特別徴収対象者情報の収録例

通知内容コード=「00」

介護情報ファイル					国民健康保険情報ファイル														
特別徴収対象者情報					特別徴収対象者情報														
年金保険者A					年金保険者B					年金保険者A					年金保険者B				
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

後期高齢者情報ファイル									
特別徴収対象者情報									
年金保険者A					年金保険者B				
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注) H … ヘッダレコード  
D … データレコード  
T … トレイラレコード

### 3. 2. 2 特別徴収依頼情報ファイル仕様

#### (1) レコードの種類

特別徴収依頼情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 2-1の通りです。

表3. 2. 2-1 レコードの種類

項番	項 目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収依頼通知 (01)	年金保険者から回付された特別徴収対象者情報を基に本人特定及び支払回数割保険料額の決定を行なった特別徴収依頼通知を収録するレコードである。

※ 特別徴収依頼情報の作成にあたっては、年金保険者から回付された特別徴収対象者情報の内容を消去せず、通知内容コード、支払回数割保険料額等の必要事項を上書きする形で作成してください。

具体的には、3. 1. 1「市町村回付情報の設定項目（年次）」記載のとおりですが、このうち「●」となっている項目について変更または消去を行った場合、年金保険者における処理が行えず、特別徴収ができなくなりますので留意してください。

※ 特別徴収依頼にあたっては、同時に回付された特別徴収対象者情報に対する全ての依頼を必ず同時に行ってください。

※ 国保／後期のH19／10捕捉に対する特別徴収依頼に係る留意事項

介護について、年金保険者が発出した介護ダミーレコードに対しては、特別徴収依頼を行わないで下さい。依頼を行っても返戻しますので留意して下さい。

国保／後期について、金額1に定額の支払回数割保険料、金額2に全桁“0”を設定して下さい。

(2) レコードの収録項目

特別徴収依頼通知レコードの収録項目は表3. 2. 2-2、3. 2. 2-3、3. 2. 2-4の通りです。

表3. 2. 2-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“01”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード(市町村→年金保険者)を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 2-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“01”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20	所	漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードを設定すること。 介護：スペースを設定すること。 国保：スペースを設定すること。 後期：後期として扱う対象者を示すコードを設定すること。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	依頼通知の発生日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	端数調整後の支払回数割保険料（10月定期支払）を設定すること。 端数調整がない場合は「金額2項目」の内容を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	定額の支払回数割保険料（10月定期支払以外）を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
27	予備	58	英数字	C	スペースを設定すること。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。		

※国保／後期のH19／10の捕捉については、金額1に定額の支払回数割保険料、金額2に全桁“0”を設定すること。

表3. 2. 2-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“01” を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額2の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額3	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	



(3) レコード収録条件

特別徴収依頼通知の収録条件は以下の通りです。

(情報収録条件)

- a. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- b. 特別徴収対象者情報ファイルで回付したデータについてすべて収録

特別徴収依頼通知の収録例を図3. 2. 2-1に示します。

図3. 2. 2-1 特別徴収依頼通知の収録例

通知内容コード=「01」

介護情報ファイル																			
特別徴収依頼通知																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

国民健康保険情報ファイル																			
特別徴収依頼通知																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

後期高齢者情報ファイル																			
特別徴収依頼通知																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注) H … ヘッダレコード  
D … データレコード  
T … トレイラレコード

### 3. 2. 3 特別徴収依頼処理結果情報ファイル仕様

#### (1) レコードの種類

特別徴収依頼処理結果情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 3-1の通りです。

表3. 2. 3-1 レコードの種類

項番	項目 (通知内容コード)	内容
1	特別徴収依頼処理結果通知 (02)	特別徴収依頼通知に対しての年金保険者に関する処理結果を収録するレコードである。

(2) レコードの収録項目

特別徴収依頼処理結果レコードの収録項目は表3. 2. 3-2、3. 2. 3-3、3. 2. 3-4のとおりです。

表3. 2. 3-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02” が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	“0” が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 3-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
22	各種区分	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照
24	後期移管コード	1	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	
		月	2	数字	C	
		日	2	数字	C	
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	
		金額2	11	数字	C	
		金額3	11	数字	C	
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。	
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	

表 3. 2. 3-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額 1	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額 1 の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額 2	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額 2 の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額 3	11	数字	C	全桁“0” が設定される。	
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

(3) レコード収録条件

年金保険者では特別徴収依頼処理結果を、以下に示す収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- b. 特別徴収依頼通知で回付されたデータのみ全て収録

特別徴収依頼処理結果の収録例を図3. 2. 3-1に示します。

図3. 2. 3-1 特別徴収依頼処理結果の収録例

通知内容コード=「02」

介護情報ファイル																			
特別徴収依頼処理結果																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T
国民健康保険情報ファイル																			
特別徴収依頼処理結果																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T
後期高齢者情報ファイル																			
特別徴収依頼処理結果																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注) H … ヘッダレコード  
 D … データレコード  
 T … トレイラレコード

### 3. 2. 4 特別徴収結果情報ファイル仕様

#### (1) レコードの種類

特別徴収結果情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 4-1の通りです。

表3. 2. 4-1 レコードの種類

項番	項目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収結果通知 (22)	特別徴収該当者の保険料の徴収内容を収録したレコードである。
2	特別徴収追加候補者情報 (30)	4月1日を基準日とした特別徴収対象者以外で、新たに4月2日～6月1日、6月2日～8月1日、8月2日～10月1日、10月2日～12月1日、12月2日～2月1日の期間ごとに、社会保険庁及び、各共済組合にて政令で定められた特別徴収対象条件を満たした年金受給者の情報を収録するレコードである。
3	特別徴収追加依頼 処理結果通知 (32)	特別徴収追加依頼通知に対しての年金保険者に関する処理結果を収録するレコードである。
4	資格喪失等処理結果通知 (42)	特別徴収該当者への資格喪失等の通知に対する処理結果を収録するレコードである。
5	仮徴収額変更処理結果通知 (62)	特別徴収該当者への仮徴収額変更通知に対する処理結果を収録するレコードである。
6	住所地特例該当者 処理結果通知 (82)	特別徴収該当者への住所地特例該当者通知に対する処理結果を収録するレコードである。



(2) レコードの収録項目

特別徴収結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-2、3. 2. 4-3、3. 2. 4-4の通りです。

表3. 2. 4-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考		
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照		
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”が設定される。			
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。			
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	通知結果の発生日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照	
		月	2	数字	C			
		日	2	数字	C			
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	①各種区分＝「00」または「10」の場合：徴収した支払回数割保険料が設定される。 ②各種区分＝「00」または「10」以外の場合：全桁“0”が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」 欄参照	
		金額2	11	数字	C			全桁“0”が設定される。
		金額3	11	数字	C			全桁“0”が設定される。
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。			
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。			

表3. 2. 4-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

特別徴収追加候補者情報レコードの収録項目は表3. 2. 4-5、3. 2. 4-6、3. 2. 4-7の通りです。

表3. 2. 4-5：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“30”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番3特別徴収義務者コードは“999”が設定される。

表3. 2. 4-6 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“30” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	基礎年金番号が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	年金保険者使用の年金コードが設定される。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードが設定される。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.2 「氏名」 欄参照
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C	郵便番号が設定される。	
18		カナ	80	カナ	C	住所(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.1 「住所」 欄参照
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番3特別徴収義務者コードは“999”、項番8基礎年金番号・項番9年金コード・項番12性別・項番17郵便番号は全桁“0”、項番11生年月日はレコード作成処理日、項番13カナ・項番18カナは桁数分半角スペース、項番15漢字・項番20漢字は桁数分全角スペース、が設定される。

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”が設定される。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードが設定される。 介護：スペースが設定される。 国保：スペースが設定される。 後期：後期として扱う対象者を示すコードが設定される。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象者年金の年金額が設定される。	
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	社会保険庁分：スペースが設定される。 共済組合分：共済の年金証書記号番号が設定される。		

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番22各種区分は全桁“0”、  
項番24後期移管コードは介護／国保は半角スペースで後期は全桁「0」、  
項番26金額3は全桁“0”が設定される。

表 3. 2. 4-7 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“30” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額 1	11	数字	C	全桁“0” が設定される。	
		金額 2	11	数字	C		
		金額 3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番 3 特別徴収義務者コードは“999”、項番 8 合計件数は“00000001”が設定される。



特別徴収追加依頼処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-8、3. 2. 4-9、3. 2. 4-10の通りです。

表3. 2. 4-8：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“32”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-9 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“32”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C		
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。		
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照	
24	後期移管コード	1	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字			C
		月	2	数字			C
		日	2	数字			C
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C		
		金額2	11	数字	C		全桁“0”が設定される。
		金額3	11	数字	C		特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。		

表3. 2. 4-10:トレイラレコード(介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“32”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額1の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

資格喪失等処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-11、3. 2. 4-12、3. 2. 4-13の通りです。

表3. 2. 4-11：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“42”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-12: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“42” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。		
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照	
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C		
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。		

表3. 2. 4-13 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“42” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	



仮徴収額変更処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-14、3. 2. 4-15、3. 2. 4-16の通りです。

表3. 2. 4-14：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“62”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-15 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“62” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考		
22	各種区分	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。			
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照		
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。			
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。		
		月	2	数字	C			
		日	2	数字	C			
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C			
		金額2	11	数字	C			
		金額3	11	数字	C			
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。			
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。			

表3. 2. 4-16 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考		
1	レコード区分	1	数字	C	“3” が設定される。			
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。		
		市町村コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C				
4	通知内容コード	2	数字	C	“62” が設定される。			
5	予備	1	英数字	C	スペースが設定される。			
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。			
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照	
		月	2	数字	C			
		日	2	数字	C			
8	合計件数	9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。			
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額1の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照	
		金額2	11	数字	C			全桁“0”が設定される。
		金額3	11	数字	C			
10	予備	437	英数字	C	スペースが設定される。			

住所地特例該当者処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-17、3. 2. 4-18、3. 2. 4-19の通りです。

表3. 2. 4-17：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“82”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-18 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“82” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。		
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照	
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C		
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。		

表3. 2. 4-19 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“82” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	



### (3) レコード収録条件

年金保険者では特別徴収結果情報を以下に示す、収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 通知内容コードで昇順にソート
- b. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- c. 資格喪失、仮徴収額変更、住所地特例該当者の各処理結果通知は該当データのみを回付

特別徴収結果情報ファイルの収録例を図3. 2. 4-1に示します。

図3. 2. 4-1 特別徴収結果情報ファイルの収録例

・通知内容コード=「22」、「32」、「42」、「62」、「82」

(注) H・・・ヘッダレコード、D・・・データレコード、T・・・トレイラレコード

介護情報ファイル																																												
特別徴収結果		特別徴収追加依頼処理結果		資格喪失等処理結果		仮徴収額変更処理結果		住所地特例該当者処理結果																																				
年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B																																			
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

国民健康保険情報ファイル																																												
特別徴収結果		特別徴収追加依頼処理結果		資格喪失等処理結果		仮徴収額変更処理結果		住所地特例該当者処理結果																																				
年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B																																			
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

後期高齢者情報ファイル																																												
特別徴収結果		特別徴収追加依頼処理結果		資格喪失等処理結果		仮徴収額変更処理結果		住所地特例該当者処理結果																																				
年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B																																			
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

・通知内容コード=「30」、「32」、「42」、「62」、「82」

(注) H・・・ヘッダレコード、D・・・データレコード、T・・・トレイラレコード

介護情報ファイル																																												
特別徴収追加候補者		特別徴収追加依頼処理結果		資格喪失等処理結果		仮徴収額変更処理結果		住所地特例該当者処理結果																																				
年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B																																			
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

国民健康保険情報ファイル																																												
特別徴収追加候補者		特別徴収追加依頼処理結果		資格喪失等処理結果		仮徴収額変更処理結果		住所地特例該当者処理結果																																				
年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B																																			
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

後期高齢者情報ファイル																																												
特別徴収追加候補者		特別徴収追加依頼処理結果		資格喪失等処理結果		仮徴収額変更処理結果		住所地特例該当者処理結果																																				
年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B	年金保険者A	年金保険者B																																			
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

### 3. 2. 5 特別徴収各種異動情報ファイル仕様

#### (1) レコードの種類

特別徴収各種異動情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 5-1の通りです。

表3. 2. 5-1 レコードの種類

項番	項目 (通知内容コード)	内容
1	特別徴収追加依頼通知 (31)	年金保険者から回付された特別徴収追加候補者情報を基に本人特定及び支払回数割保険料額の決定を行った特別徴収追加依頼通知を収録するレコードである。
2	資格喪失等の通知 (41)	特別徴収該当者への被保険者資格喪失等の通知を収録するレコードである。
3	仮徴収額変更通知 (61)	特別徴収該当者への仮徴収額変更通知を収録するレコードである。
4	住所地特例該当者通知 (81)	特別徴収該当者への住所地特例該当者通知を収録するレコードである。

※ 特別徴収各種異動情報の作成にあたっては、氏名、住所、生年月日、性別等の基本的項目について、特別徴収依頼情報または特別徴収追加依頼情報の内容と同一のものとなるよう作成してください。

これらの基本的項目が特別徴収依頼情報または、特別徴収追加依頼情報の内容と異なる場合、年金保険者が管理する原簿との突合処理において、該当者がなく、原簿突合エラーとなり、更新処理が行なわれないので留意してください。

また、特別徴収追加依頼情報の作成にあたっては、年金保険者から回付された特別徴収追加候補者情報の内容を消去せず、通知内容コード、支払回数割保険料額等の必要事項を上書きする形で作成してください。

具体的には、3. 1. 2「市町村回付情報の設定項目（月次）」記載のとおりですが、このうち「◆」となっている項目について変更または消去を行った場合、年金保険者における処理が行えず、特別徴収ができなくなりますので留意してください。

※ 特別徴収追加依頼にあたっては、同時に回付された特別徴収追加候補者情報に対する全ての依頼を必ず同時に行ってください。

(2) レコードの収録項目

特別徴収追加依頼通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-2、3. 2. 5-3、3. 2. 5-4の通りです。

表3. 2. 5-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“31”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード(市町村→年金保険者)を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“31”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C		
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードを設定すること。 介護：スペースを設定すること。 国保：スペースを設定すること。 後期：後期として扱う対象者を示すコードを設定すること。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	依頼通知の発生日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	①各種区分＝「01」または「02」（特別徴収対象者）の場合： 定額の支払回数割保険料（10月定期支払以外）を設定すること。 ②各種区分＝「03」（特別徴収非対象者）の場合：全桁“0”を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額3	11	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
27	予備	58	英数字	C	スペースを設定すること。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。		

表3. 2. 5-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“31” を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額3	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	

資格喪失等の通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-5、3. 2. 5-6、3. 2. 5-7の通りです。

表3. 2. 5-5：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“41”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード（市町村→年金保険者）を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	



表3. 2. 5-6 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“41”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている基礎年金番号を設定すること。 設定しない場合は、全桁“0”を設定すること。	
9	年金コード		4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている年金コードを設定すること。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードを設定すること。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名をカナ文字で設定すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照
シフトコード		3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。		
漢字		25	漢字	X	氏名を漢字で設定すること。	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照	
シフトコード		3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
17	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定すること。		
18	住 所	カナ	80	カナ	C	住所をカナ文字で設定すること。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略すること。（カ ナ文字については、カナ大文字の み使用可とする。）	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照
19		シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。	
20		漢字	80	漢字	X	住所を漢字で設定すること。島し ょ以外の市町村については、都道 府県名は省略すること。	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照
21		シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。	
22		各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定する こと。	コード表参照
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースを設定すること。		
25	各 種 年 月 日	西暦年	4	数字	C	資格喪失した発生年月日を設定す ること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
月		2	数字	C			
日		2	数字	C			
26	各 種 金 額 欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
金額2		11	数字	C			
金額3		11	数字	C			
27	予備	58	英数字	C	スペースを設定すること。		
28	共済年金証書 記号番号	15	英数字 カナ	C	スペースを設定すること。		

表3. 2. 5-7 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“41” を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	

仮徴収額変更通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-8、3. 2. 5-9、3. 2. 5-10の通りです。

表3. 2. 5-8：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“61”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード（市町村→年金保険者）を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-9 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“61”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている基礎年金番号を設定すること。 設定しない場合は、全桁“0”を設定すること。	
9	年金コード		4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている年金コードを設定すること。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードを設定すること。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名をカナ文字で設定すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照
シフトコード		3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。		
漢字		25	漢字	X	氏名を漢字で設定すること。	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照	
シフトコード		3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
17	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定すること。		
18	住 所	カナ	80	カナ	C	住所をカナ文字で設定すること。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略すること。（カ ナ文字については、カナ大文字の み使用可とする。）	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照
19		シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。	
20		漢字	80	漢字	X	住所を漢字で設定すること。島し ょ以外の市町村については、都道 府県名は省略すること。	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照
21		シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。	
22		各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定する こと。	コード表参照
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースを設定すること。		
25	各 種 年 月 日	西暦年	4	数字	C	各種区分の発生年月日を設定する こと。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
月		2	数字	C			
日		2	数字	C			
26	各 種 金 額 欄	金額1	11	数字	C	変更後の仮徴収額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
金額2		11	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
金額3		11	数字	C			
27	予備	58	英数字	C	スペースを設定すること。		
28	共済年金証書 記号番号	15	英数字 カナ	C	スペースを設定すること。		

表3. 2. 5-10:トレイラレコード(介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“61”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	

住所地特例該当通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-11、3. 2. 5-12、3. 2. 5-13の通りです。

表3. 2. 5-11：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“81”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード（市町村→年金保険者）を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	



表3. 2. 5-12: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“81”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている基礎年金番号を設定すること。 設定しない場合は、全桁“0”を設定すること。	
9	年金コード		4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている年金コードを設定すること。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードを設定すること。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名をカナ文字で設定すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照
シフトコード		3	記号	X	漢字シフトコード: 16進“1B2442”を設定すること。		
漢字		25	漢字	X	氏名を漢字で設定すること。	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照	
シフトコード		3	記号	X	カナシフトコード: 16進“1B284A”を設定すること。		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
17	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定すること。		
18	住 所	カナ	80	カナ	C	住所をカナ文字で設定すること。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略すること。（カ ナ文字については、カナ大文字の み使用可とする。）	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照
19		シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。	
20		漢字	80	漢字	X	住所を漢字で設定すること。島し ょ以外の市町村については、都道 府県名は省略すること。	
21		シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。	
22		各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定する こと。	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースを設定すること。		
25	各 種 年 月 日	西暦年	4	数字	C	住所地特例の該当の発生日月日を 設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
月		2	数字	C			
日		2	数字	C			
26	各 種 金 額 欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
金額2		11	数字	C			
金額3		11	数字	C			
27	予備	58	英数字	C	スペースを設定すること。		
28	共済年金証書 記号番号	15	英数字 カナ	C	スペースを設定すること。		

表3. 2. 5-13: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“81” を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	

### (3) レコード収録条件

特別徴収各種異動情報の収録条件は以下の通りです。

(情報収録条件)

- a. 通知内容コードで昇順にソート
- b. 特別徴収義務者コードで昇順にソート

特別徴収各種異動情報ファイルの収録例を図3. 2. 5-1に示します。

図3. 2. 5-1 特別徴収各種異動情報ファイルの収録例

通知内容コード=「31」、「41」、「61」、「81」

介護情報ファイル																													
特別徴収追加依頼通知									資格喪失等の通知																				
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C														
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

介護情報ファイル																													
仮徴収額変更通知									住所地特例該当者通知																				
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C														
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

国民健康保険情報ファイル																													
特別徴収追加依頼通知									資格喪失等の通知																				
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C														
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

国民健康保険情報ファイル																													
仮徴収額変更通知									住所地特例該当者通知																				
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C														
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

後期高齢者情報ファイル																													
特別徴収追加依頼通知									資格喪失等の通知																				
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C														
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

後期高齢者情報ファイル																													
仮徴収額変更通知									住所地特例該当者通知																				
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C														
H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T	H	D	.....	D	T

(注) H … ヘッダレコード  
D … データレコード  
T … トレイラレコード

## 第4 留意事項

### 4. 1 項目設定共通事項

#### 4. 1. 1 「住所」欄

- ① 住所欄は、島しょ以外の場合、都道府県名は省略し、市町村名以降を設定することとします。
- 形式Ⅰ：政令指定都市の場合、市名＋区名＋町丁名以降を設定すること。
- 形式Ⅱ：東京都23区の場合、区名＋町丁名以降を設定すること。
- 形式Ⅲ：市の場合、市名＋町丁名以降を設定すること。
- 形式Ⅳ：島しょの場合、都道府県名＋市町村名＋町丁名以降を設定すること。
- 形式Ⅴ：上記以外の場合、郡名＋町村名＋町丁名以降を設定すること。
- ② カナ住所は、全てカナ大文字とします。
- ③ 漢字住所を省略する場合、「漢字住所」項目欄へは2バイト文字のスペースを設定することとします。
- ④ 住所間にスペースを設定する場合は、カナ住所では1バイト文字の、漢字住所では2バイト文字の連続しないスペースを1つ設定することとします。

表4. 1. 1-1 住所設定の規定事項（形式Ⅰ～Ⅴ共通）

項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
住所	カナ	80	英、数字 カナ、記号	C	左づめ。余り桁部には半角スペースを設定すること。	図4. 1. 1-1を参照。
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B2442”を設定すること。	
	漢字	80	漢字	X	左づめ。余り桁部には全角スペースを設定すること。省略する場合は全桁に全角スペースを設定すること。	
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B284A”を設定すること。	

※（文字種別欄）

漢字：2バイトの漢字・ひらがな・カタカナ・英字・数字・記号により設定の意。

以下に、形式Ⅰ～Ⅴにより具体例を示します。













#### 4. 1. 2 「氏名」欄

- ① 氏名欄は、姓・名（ミドルネーム含む）を設定することとします。  
なお、英字を含む場合は、アルファベット大文字を使用することとします。
- ② カナ氏名は、全てカナ大文字とすることとします。
- ③ 漢字氏名を省略する場合、「漢字氏名」項目欄へは2バイト文字のスペースを設定することとします。
- ④ 姓名間にスペースを設定する場合は、カナ氏名では1バイト文字の、漢字氏名では2バイト文字の連続しないスペースを1つ設定することとします。  
また、外国人でミドルネーム等がある場合は、ファーストネームの後に、カナ、英字氏名ともに1バイト文字の連続しないスペースを1つ設定することとします。

表4. 1. 2-1 氏名設定の規定事項

項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
氏名	カナ	25	カナ、英字	C	左づめ。余り桁部には半角スペースを設定すること。	図4. 1. 2-1を参照。
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B2442”を設定すること。	
	漢字	25	漢字	X	左づめ。余り桁部には全角スペースを設定すること。 省略する場合は全桁に全角スペースを設定すること。	
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B284A”を設定すること。	

以下に、氏名の設定方法について具体例を示します。

図4. 1. 2-1 氏名設定の具体例

(凡例) △ : スペース (2バイトモード)、△ : スペース (1バイトモード)

① 漢字氏名を有する者の場合

(参考氏名) キョウサイ 知  
共済 太郎

項目名	漢字氏名															
属性	漢字															
バイト	50															
設定値	共	済	△	太	郎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	5			10			15			50						

項目名	カナ氏名															
属性	カナ、英字															
バイト	25															
設定値	キ	ヨ	ウ	サイ	△	タ	ロ	ウ	△	△	△	△	△	△	△	△
	5			10			15			25						

② 漢字氏名を有しない者の場合

(参考氏名) ジョン F ケネディ  
JOHN F KENNEDY

項目名	漢字氏名															
属性	漢字															
バイト	50															
設定値	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	5			10			15			20						

項目名	カナ氏名															
属性	カナ、英字															
バイト	25															
設定値	シ	△	ヨ	ン	△	エ	フ	ケ	ネ	テ	△	イ	△	△	△	△
	5			10			15			25						

#### 4. 1. 3 「年月日」欄

表4. 1. 3-1 年月日設定の具体例

(参考年月日) ・作成年月日(西暦) : 1999年10月1日

項目名	設定値	桁数	文字種類	属性	備考
作成年月日	19991001 ※	8	数字	C	西暦年4桁

※1桁の月、日の場合は必ず前に“0”を付加して、2桁にする。

#### 4. 1. 4 「金額」欄

表4. 1. 4-1 金額設定の具体例

(参考金額) ・各種金額1 : 2,500円

項目名	設定値	桁数	文字種類	属性	備考
各種金額1	00000002500 ※	11	数字	C	右詰めに設定 ※

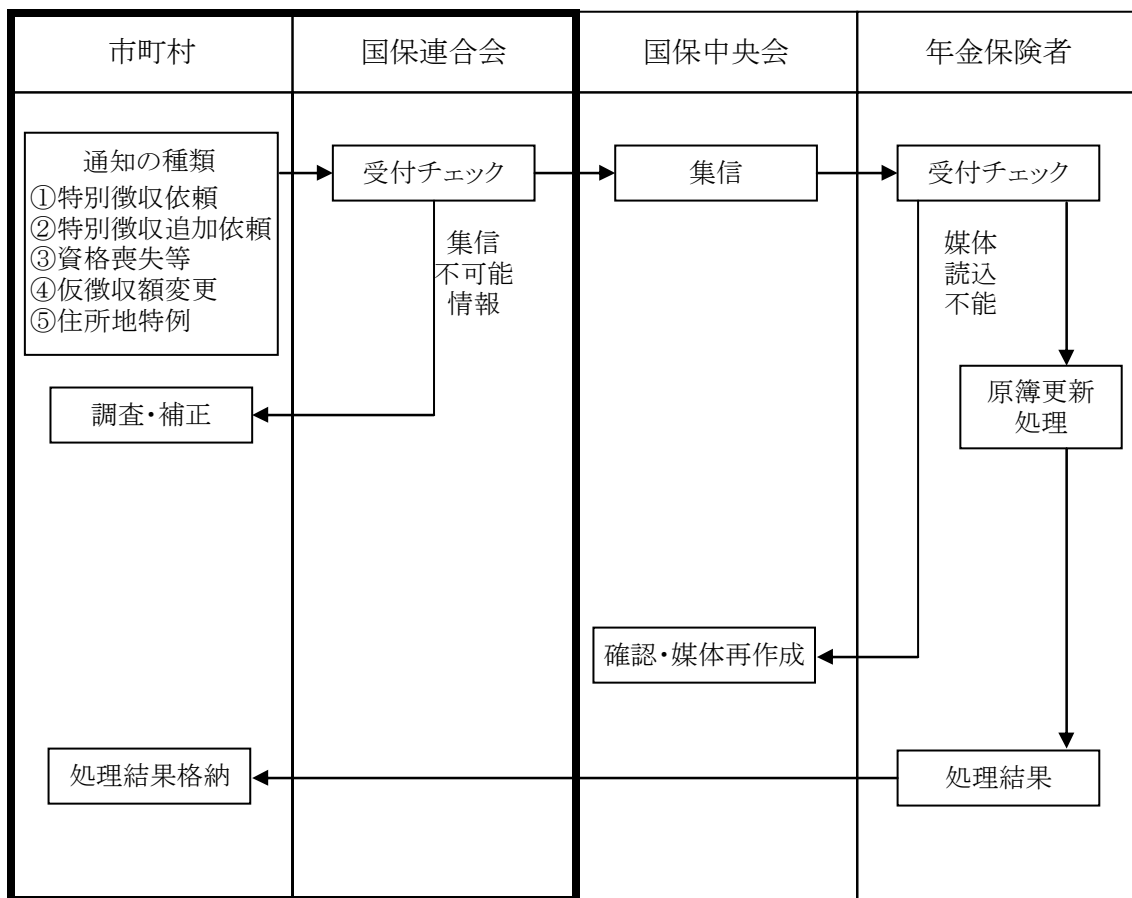
※桁数が11桁に満たない場合は、必ず前に“0”を付加して、11桁になるようにする。単位は、1円とする。

#### 4. 2 エラーの取り扱いについて

各市町村からの通知について、媒体不良等読み込み不能の場合や項目設定内容不良の場合には、当該通知による処理を行うことができないため、そのまま媒体（通知）を返戻することとなります。

また、こうした場合には適正な補正をした上で、改めて通知をしていただくこととなりますが、特別徴収依頼の通知において事故が生じた場合は、当該年度中の特別徴収が行えず普通徴収となるので注意が必要です。

図4. 2-1 各機関におけるエラーの取り扱い



(1) 受付チェック

市町村から回付された情報について、国保連合会にて受付チェックを行い、エラーとなる情報が収録されていた場合、返戻することとなります。

配信不可能情報のケースは、以下に示す通りです。

- ①媒体不良
- ②ハード仕様不良  
(記録密度、トラック数の相違)
- ③ソフト仕様不良
  - ・ラベル不良
  - ・市町村コード相違
  - ・ファイル構成不良
  - ・ブロック長不良
  - ・レコード長不良
  - ・規定外文字使用、等
- ④1レコード内単項目チェック
  - ・数字項目におけるニューメリック不良
  - ・日付項目における実在日不良
  - ・コード・区分における存在不良
  - ・市町村コード存在不良
  - ・特別徴収義務者コード不該当
  - ・規定外文字使用、等
- ⑤1レコード内項目相関チェック
  - ・通知内容コードと各種区分、各種金額の相関不良、等
- ⑥レコード間相関チェック
  - ・ヘッダレコード・データレコード・トレイラレコードの相関不良、等



#### 4. 3 エラーチェック内容

試験結果通知書〔様式第5号〕及びエラーリストに記入されるエラーコード・内容については次のとおりです。

(1) 特別徴収エラーコード一覧表

レコード	エラーコード	エラー項目	エラーの内容	集信可否	備考
ヘッダ	301	レコード区分	当レコードが先頭レコードの場合、“1”以外である。 値が“1”の場合で、かつ当レコードが先頭レコード以外の場合、 前レコードのレコード区分が“3”以外である。	不可	
	302	市町村コード	数字以外である。		
	303		コントロールレコードの保険者番号上5桁と同一でない。		
	304		国保連合会保有の市町村マスタに存在していない。		
	305	特別徴収義務者コード	数字以外である。		
	306		“501”、“594”～“606”、“686”、“687”、“700” 、“999”以外である。		
	307	通知内容コード	数字以外である。		
	308		年次の場合、“01”以外である。 月次の場合、“31”、“41”、“61”、“81”以外である。		
	309	媒体コード	半角スペース、“0”～“9”以外である。		
	310	特別徴収制度コード	数字以外である。		
	311		“0”、“1”、“2”以外である（H19年10月抽出分において、“1”、“2”以外である）。		
	312	作成年月日	数字以外である。 実存日以外である。 未来日である。 年次の場合、当年以外である。		
データ	401	レコード区分	値が“2”の場合、前レコードの区分が“1”、又は“2”以外である。	不可	
	402	市町村コード	数字以外である。		
	403		コントロールレコードの保険者番号上5桁と同一でない。		
	404		国保連合会保有の市町村マスタに存在していない。		

レコード	エラーコード	エラー項目	エラーの内容	集信可否	備考				
データ	405	特別徴収義務者コード	数字以外である。	不可					
	406		ヘッダレコードの特別徴収義務者コードと不一致である。						
	407		“501”、“594”～“606”、“686”、“687”、“700” 、“999”以外である。						
	408	通知内容コード	数字以外である。						
	409		年次の場合、“01”以外である。 月次の場合、“31”、“41”、“61”、“81”以外である。						
	410		ヘッダレコードの通知内容コードと不一致である。						
	411	予備（1桁）	半角スペース以外である。						
	412	特別徴収制度コード	数字以外である。						
	413		ヘッダレコードの特別徴収制度コードと不一致である。						
	414		“0”、“1”、“2”以外である（H19年10月抽出分において、“1”、“2”以外である）。						
	415	作成年月日	数字以外である。 実存日以外である。 未来日である 年次の場合、当年以外である。 通知内容コードが“31”の場合、備考記載以外の日付である。			不可	【通知内容コード“31” に設定される作成年月日】 9・10月提出期限分：6月1日 11・12月提出期限分：8月 1日 1・2月提出期限分：前年の 6月1日、8月1日もしくは 10月1日 3・4月提出期限分：前年の 12月1日 5・6月提出期限分：2月1日		
	416	基礎年金番号	数字以外である。						
	417	年金コード	数字以外である。						
	418	予備（3桁）	半角スペース以外である。						
	419	生年月日	西暦年が“0001”～“9999”以外である。 月が“01”～“12”以外である。 日が“01”～“31”以外である						
	420	性別	“1”、又は“2”以外である。						
	421	氏名（カナ）	半角文字としてインバリッドコード（規定外文字）がある。						
	422		オール半角スペースである。						
	423		先頭が半角スペースである。						
	424		カナ、英字、半角スペース以外である。						
	425		文字間に連続して半角スペースが存在する。						
	426	シフトコード（氏名）	16進“1B2442”以外である。					可	シフトコードでエラーを 検出した場合は、漢字氏 名のチェックは行わない。
	427	氏名（漢字）	先頭が全角スペースである。					不可	
	428		全角文字としてインバリッドコード（規定外文字）がある。					可	
	429		文字間に連続して全角スペースがある					可	
	430	シフトコード（氏名）	16進“1B284A”以外である。			不可			

レコード	エラーコード	エラー項目	エラーの内容	集信可否	備考
データ	431	郵便番号	3桁+4桁(半角スペース)、又は5桁+2桁(半角スペース)、又は7桁が数字以外である。	不可	
	432	住所(カナ)	半角文字としてインバリッドコード(規定外文字)がある。		
	433		オール半角スペースである。		
	434		先頭が半角スペースである。		
	435		文字間に連続して半角スペースが存在する。		
	436	シフトコード(住所)	16進“1B2442”以外である。	不可	シフトコードでエラーを検出した場合は、漢字住所のチェックは行わない。
	437	住所(漢字)	全角文字としてインバリッドコード(規定外文字)がある。	不可	
	438		先頭が半角スペースである。	不可	
	439		文字間に連続して全角スペースがある	可	
	440	シフトコード(住所)	16進“1B284A”以外である。	不可	通知01の際、ダミーレコード“70”は集信不可となる。
	441	各種区分	年次の場合、“01”～“03”以外である。 月次の場合、“00”～“04”以外である		
	442		月次の場合のみ、以下の関連チェックを行う。 通知内容コードが“31”の場合、“01”～“03”以外である。 通知内容コードが“41”の場合、“01”～“04”以外である。 通知内容コードが“61”の場合、“00”以外である。 通知内容コードが“81”の場合“01”～“02”以外である。		
	443	処理結果	“00”以外である。		
	444	予備	半角スペース以外である。		
	445	各種年月日	数字以外である。 実存日以外である。 年次の場合、当年以外である		
	446	各種金額欄/金額1	数字以外である。		
	447		通知内容コード“01”、各種区分“01”“02”の場合、0である。		
			通知内容コード“01”、各種区分“03”の場合、0以外である。		
			通知内容コード“31”、各種区分“01”“02”の場合、0である。		
			通知内容コード“31”、各種区分“03”の場合、0以外である。		
448	各種金額欄/金額2	通知内容コード“41”の場合、0以外である。			
		通知内容コード“81”の場合、0以外である。			
		数字以外である。			
		通知内容コード“01”、各種区分“01”“02”の場合、0以外である。			
		通知内容コード“01”、各種区分“03”の場合、0以外である。			
449		通知内容コード“31”、各種区分“01”“02”の場合、0以外である。			
		通知内容コード“31”、各種区分“03”の場合、0以外である。			
		通知内容コード“41”の場合、0以外である。			
		通知内容コード“61”の場合、0以外である。			
450	各種金額欄/金額3	通知内容コード“81”の場合、0以外である。			
		数字以外である。			
					※H19年10月抽出分のみ

レコード	エラーコード	エラー項目	エラーの内容	集信可否	備考
データ	451	後期移管コード	介護・国保の場合スペース以外、後期高齢の場合“0”、又は“1”以外である。	不可	
	452	年金証書番号（共済）	特別徴収義務者コードが“501”、“594”～“606”、“686”、“687”、“700”の場合のみ、以下の関連チェックを行う。 15桁半角英数字カナ以外である。		
トレイラ	501	レコード区分	値が“3”の場合、前レコードのレコード区分が“2”以外である。		
	502	市町村コード	数字以外である。		
	503		コントロールレコードの保険者番号上5桁と同一でない。		
	504		国保連合会保有の市町村マスタに存在していない。		
	505	特別徴収義務者コード	数字以外である。		
	506		ヘッダレコードの特別徴収義務者コードと不一致である。		
	507		“501”、“594”～“606”、“686”、“687”、“700”、“999”以外である。		
	508	通知内容コード	数字以外である。		
	509		年次の場合、“01”以外である。 月次の場合、“31”、“41”、“61”、“81”以外である。		
	510		ヘッダレコードの通知内容コードと不一致である		
	511	予備	半角スペース以外である。		
	512	特別徴収制度コード	数字以外である。		
	513		ヘッダレコードの特別徴収制度コードと不一致である。		
	514		“0”、“1”、“2”以外である（H19年10月抽出分において、“1”、“2”以外である）。		
	515	作成年月日	数字以外である。 実存日以外である。 未来日である。 年次の場合、当年以外である		
	516	合計件数	数字以外である。		
	517	各種金額欄／金額 1	数字以外である。		
518		通知内容コード“01”、各種区分“01”“02”の場合、0である。 通知内容コード“01”、各種区分“03”の場合、0以外である。 通知内容コード“31”、各種区分“01”“02”の場合、0である。 通知内容コード“31”、各種区分“03”の場合、0以外である。 通知内容コード“41”の場合、0以外である。 通知内容コード“81”の場合、0以外である。			

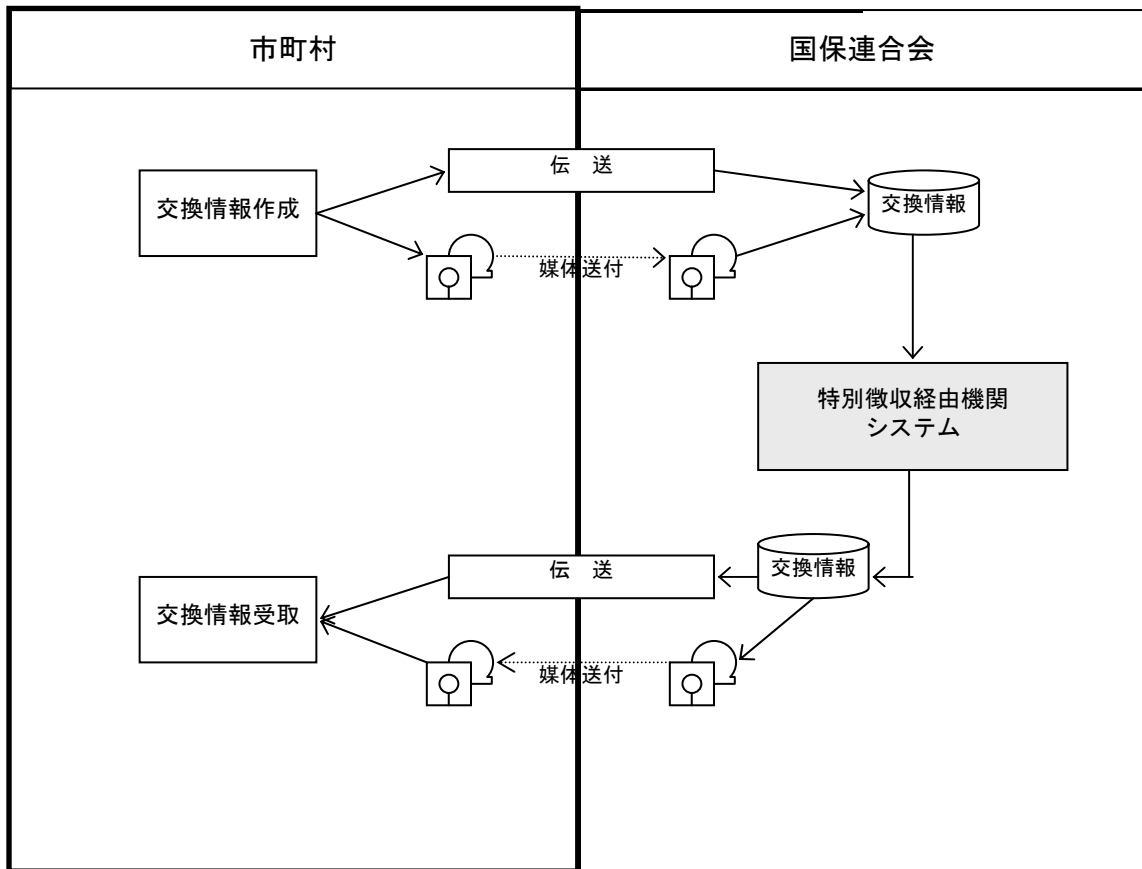
レコード	エラーコード	エラー項目	エラーの内容	集信可否	備考
トレイラ	519	各種金額欄／金額2	数字以外である。	不可	※H19年10月抽出分のみ
	520		通知内容コード“01”、各種区分“01”“02”の場合、0以外である。		
			通知内容コード“01”、各種区分“03”の場合、0以外である。		
			通知内容コード“31”、各種区分“01”“02”の場合、0以外である。		
			通知内容コード“31”、各種区分“03”の場合、0以外である。		
			通知内容コード“41”の場合、0以外である。		
		通知内容コード“61”の場合、0以外である。			
	通知内容コード“81”の場合、0以外である。				
	521	各種金額欄／金額3	数字以外である。		
その他	601	構成エラー	ヘッダ／データ／トレイラの固まりが規定通りのソート順と異なる		
	602	受入エラー	未回付エラー・特別徴収対象者件数>特別徴収依頼通知件数である	可	
	603		過回付エラー・特別徴収対象者件数<特別徴収依頼通知件数である		
	604	大量普通徴収	通知内容コードが“01”の場合、同一市町村の同一特別徴収義務者コード(999のみ)のすべてのデータで各種区分が“03”である。	不可	※国保連合会保有の市町村マスタにて市町村毎の集信可否を設定可能

#### 4. 4 データ交換の流れ

各市町村からの通知について、磁気媒体または伝送を介して国保連合会へ送付します。国保連合会では、受領した交換情報を特別徴収経路機関システム内に読み込み、各業務処理を実行します。

また、特別徴収経路機関システムが作成した交換情報は、磁気媒体または伝送を介して各保険者等に送付されます。

図4. 4-1 データ交換の流れ



## (1) 受付方法

国保連合会での交換情報（磁気媒体）の受付は次の方法にて行います。

### ① 交換情報の受理

保険者等より提出される交換情報を格納した磁気媒体及び「送付票」を受理します。

### ② 送付票と媒体の確認

「送付票」に記載された媒体数と受理した磁気媒体の数を確認します。

### ③ 送付票への受付印の押印

「送付票」の受付印欄に受付印を押印します。

### ④ 交換情報のフォーマット変換

特別徴収経由機関システムにより交換情報のフォーマット変換を行います。

媒体エラーまたはフォーマットエラーの場合、保険者等への交換情報の再作成依頼を行います。

## (2) 送付方法

国保連合会での交換情報（磁気媒体）の送付は次の方法にて行います。

### ① 送付票出力

「送付票」を出力します。

### ② 帳票枚数確認

「送付票」に記載された各種帳票の総枚数と送付する帳票の総枚数を確認します。

### ③ 磁気媒体数確認

「送付票」に記載された磁気媒体の総数と送付する磁気媒体の総数を確認します。

### ④ 発送

各種帳票及び磁気媒体を保険者等別に仕分けし、各々「送付票」に記載された帳票・磁気媒体の数と送付する帳票・磁気媒体の数を確認、決済を受け、各保険者等へ送付します。

## 4. 5 媒体作成・伝送使用上の留意事項

### (1) 磁気媒体作成上の留意事項

#### ①全般

- ・磁気媒体上のファイル名については、特別徴収経由機関システムではチェックの対象外となります。ただし、原則として同一月の交換情報としては同一ファイル名は使用せず、送付元で識別できる名称としてください。
- ・異なる市町村からの情報を1枚の媒体に混在させないでください。
- ・磁気媒体に格納するファイルはパスワード保護を行ってください。

#### ②MO、フロッピーディスク、CD及びDVD

- ・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う必要があります。

### (2) 伝送使用上の留意事項

#### ①エラー時の対応

- ・伝送したファイルの読み込みエラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う必要があります。

#### ②セキュリティ

- ・国保連合会と接続した機器及びLAN環境を同時に他のネットワークに接続しないでください。(ネットワーク同士の相互乗り入れを前提としたLAN間接続は行わないでください。)
- ・国保連合会との接続は、登録した電話番号から行い、各々の市町村に送付された市町村IDとパスワードによる認証を行います。
- ・パスワードは、市町村IDの払出時に国保連合会側で設定されますが、最初の接続時に市町村側の責任で任意な値に変更してください。
- ・パスワードの定期的変更は市町村の責務となります。
- ・パスワードを忘失した場合は、迅速に国保連合会に届け出、再発行等の処置を受けてください。



## 第5 文字コード規定

### 5. 1 文字コードについて

本情報交換で規定するJISコードとは、日本工業規格で定められた文字コードであり、パーソナルコンピュータ等で使用されているシフトJISコードとは、コード体系が異なっています。

そのため、シフトJISコードを使用している各市町村におかれましてはJISコード変換が必要となりますのでご注意ください。

また、市町村でご使用のコンピュータの使用文字コードが、仕様上「JIS準拠」となっている場合でも、JIS規格外のコード設定となっている場合があります。

つきましては、市町村でご使用のコンピュータの使用文字コードが次項の規定に基づいている事を必ず確認し、必要に応じてコード変換等の対処を行って下さい。

### 5. 2 文字コード規定

①本仕様書で規定する文字コード規定は、表5. 2-1の通りです。

表5. 2-1 文字コード規定

項番	項目	内容	JIS規格
1	1バイト文字	1バイト文字はJIS8単位符号を使用し、使用可能文字は表5. 2-2のとおりである。なお、表中の空欄の箇所は使用不可とする。	JIS X 0201_1976
2	2バイト文字	2バイト文字はJISコード（JIS第一水準、JIS第二水準）を使用し、使用可能文字は表5. 2-3のとおりである。	JIS X 0208_1983

表5. 2-2 JIS8単位符号

$2^3 \sim 2^0$ / $2^7 \sim 2^4$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P						ー (長音)	タ	ミ		
1				1	A	Q						ア	チ	ム		
2				2	B	R						イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S						ウ	テ	モ		
4			\$	4	D	T						エ	ト	ヤ		
5				5	E	U						オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V					ヲ	カ	ニ	ヨ		
7				7	G	W						キ	ヌ	ラ		
8			(	8	H	X						ク	ネ	リ		
9			)	9	I	Y						ケ	ノ	ル		
A			*		J	Z						コ	ハ	レ		
B			+		K							サ	ヒ	ロ		
C			,		L	¥						シ	フ	ワ		
D			-	=	M							ス	ヘ	ン		
E					N							セ	ホ	・ (濁点)		
F			/		O							ソ	マ	・ (半濁点)		

表5. 2-3 JISコード使用可能文字

項番	項目	内容	符号範囲	使用可否	使用不可符号
1	特殊文字	特殊な図形をもち区切りや印などに用いる文字			
1-1	間隔		1区 1点	全て使用可	無し
1-2	記述記号		1区 2点~37点	全て使用可	無し
1-3	括弧記号		1区38点~59点	全て使用可	無し
1-4	学術番号		1区60点~74点 2区26点~33点 2区42点~48点 2区60点~74点	一部使用不可	2区26点~33点 2区42点~48点 2区60点~74点
1-5	単位記号		1区75点~83点 2区82点~83点	一部使用不可	2区82点~83点
1-6	一般記号	1区84点~94点 2区 1点~14点 2区84点~89点 2区94点	一部使用不可	2区84点~89点 2区94点	
2	数字	0~9の10文字	3区16点~25点	全て使用可	無し
3	ローマ字	A B~Zの大文字及びa b~zの小文字	3区33点~58点 3区65点~90点	全て使用可	無し
4	平仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音、促音の文字	4区 1点~83点	全て使用可	無し
5	片仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音、促音の文字	5区 1点~86点	全て使用可	無し
6	ギリシア文字	A B~Ωの大文字及びα β~ωの小文字	6区 1点~24点 6区33点~56点	全て使用可	無し
7	ロシア文字	A B~Яの大文字及びa б~яの小文字	7区 1点~33点 7区49点~81点	全て使用可	無し
8	漢字	第一水準、第二水準の文字	16区 1点~ 47区51点 48区 1点~ 84区 4点	全て使用可	無し
9	罫線素辺	細線、太線、混在素線の文字	8区 1点~32点	全て使用不可	8区 1点~32点
10	その他領域	空き領域	上記以外	全て使用不可	空き領域は全て使用不可